

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年06月30日

計画の名称	駐留軍用地返還跡地利用による活力創出と安全・安心な生活を支える基盤整備												
計画の期間	平成29年度～平成31年度(3年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	北中城村												
計画の目標	返還された駐留軍用地(泡瀬ゴルフ場跡地)において、土地区画整理事業による計画的なまちづくりを推進するとともに、雇用の場や地域の活力を創出し、活気ある地域を形成する。また、課題となっている地域の人々の安全・安心な生活を支える基盤整備を推進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	592	A	592	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H31末)
1	地区内の雇用者人数の増加 働く場の創出により雇用人数を増やす。地区内への調査を行う。	4000人	人	4200人
2	道路の整備により、周辺へ住宅を誘導を行うことによる定住人口の増加 土地区画整理地区内の居住人口を調査する。	0人	人	900人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							H29	H30	H31	R02	R03				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	街路	沖縄	北中城村	間接	北中城村ア ワセ土地 画整理組合	区画	改築	アワセ土地 画整理事業	区画整理 A=47.9ha	北中城村	■	■	■			592	1.4	—	
											小計						592			
											合計						592			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
事業策定主体にて評価を実施		令和2年度	
		公表の方法	
		北中城村HPにて公表	

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業施設や医療施設の開業に引続き、村民体育館や民間スポーツ施設も立地した。地区内の幹線沿いにおける店舗等による土地利用も増加傾向の兆しが見られ、また観光に特化した商業施設立地の効果により県内外や外国からの観光客も増加傾向のある中、地区内にも宿泊施設の建築も予定されていることから、今後も引続き雇用の場が増加すると予想される。</li> <li>・土地区画整理事業を実施することで、商業施設や医療施設の立地条件から、多くの大型マンションが建築された。また戸建て住宅についても徐々に建築が盛んとなり、今後も更なる人口増加が予想される。</li> </ul>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	<p>早期跡地利用を目標とし駐留軍用地跡地から土地区画整理事業を実施することで、大型商業施設を誘致することができたことにより、県内外や外国から多くの人が訪れるまちへと変化することができた。また標高の高い地形上から防災に強いまちを目指すことにより、大型商業施設や医療施設、その他の施設にて地域防災協定を締結することで官民一体としたまちづくりを取組むことができた。</p>

○特記事項（今後の方針等）

土地区画整理事業が平成25年度より令和元年度末で事業を完了することができた。これまで、商業施設や医療施設が注目されていた当地区においても大規模なマンションの立地や住宅建設、その他の民間の施設も建築され、公共施設となる村民体育館も供用がなされた。着々と人口の増加も図られている中、より良い街づくりを形成、維持していくためにも地域コミュニティーが必要となる事から、今後は早期に新たな当該地区の自治会立上げに向け取り組む必要がある。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	地区内の雇用者人数の増加		
	最終目標値	4200人	土地区画整理事業を実施したことにより大型商業施設の誘致、医療施設の開院に引続き民間スポーツ施設、コンビニエンスストア等の店舗も徐々に増えたことにより、目標値を上回ることができた。今後も地区内に保育施設、宿泊施設も予定されることから、更なる地区内での雇用の場が生まれると予想される。
最終実績値	4238人		
2	道路の整備により、周辺住宅を誘導を行うことによる定住人口の増加		
	最終目標値	900人	当該地区内での戸建て住宅の立地や大型マンションの件数や売買情報からも当初予定となる居住人口を達成することを見込んでいたが、目標となる人口には達成することができなかった。今後は、戸建て住宅の建築も増加傾向となっていることから、地区内における人口も増加すると見込まれる。
最終実績値	615人		

(参考図面) 全体概要

計画の名称	1 駐留軍用地返還跡地利用による活力創出と安全・安心な生活を支える基盤整備	
計画の期間	平成29年度 ~ 令和元年度 (3年間)	交付対象 北中城村

